

第7週(2月15日～2月21日)の集計結果

コメント

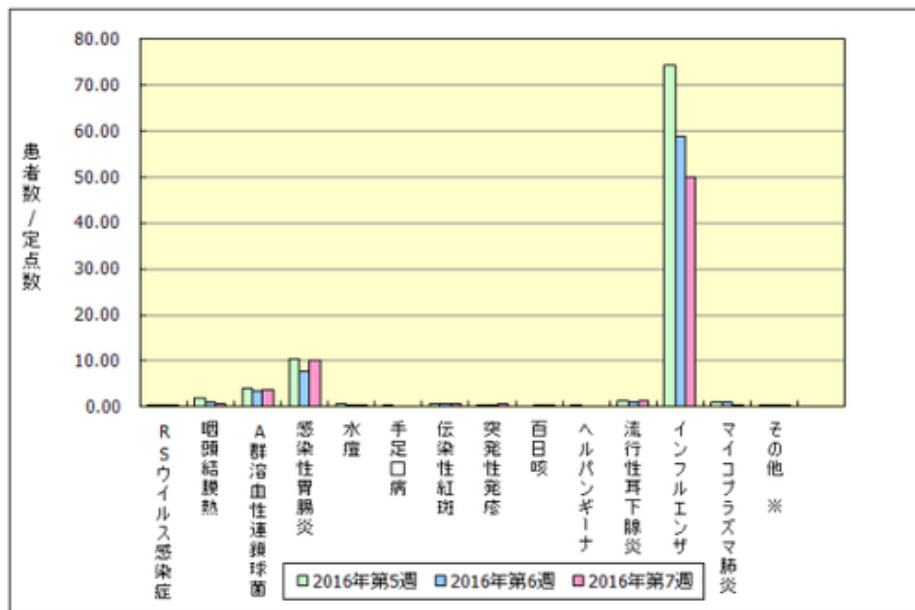
【今週の傾向】

○インフルエンザは、小児科定点あたり50.1人と、前週の58.7人に比べ減少しました。

八王子市のインフルエンザ定点(小児科+内科)でも、定点あたり41.2人(前週49.4人)と減少していますが、依然、警報レベル(基準値は定点あたり30人)を超えています。

(A型 372人、B型 315人、型不明 15人)

今後再び患者数が上昇することも予測されますので、引き続き、手洗い、咳エチケットの励行をお願いします。



※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第7週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第2週	2016年 第3週	2016年 第4週	2016年 第5週	2016年 第6週	2016年 第7週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	8 ↓	7 ↓	8 ↑	3 ↓	5 ↑	2 ↓	54
咽頭結膜熱	4 ↑	9 ↑	6 ↓	27 ↑	15 ↓	8 ↓	72
A群溶血性連鎖球菌	37 ↑	49 ↑	53 ↑	56 ↑	46 ↓	51 ↑	319
感染性胃腸炎	165 ↑	144 ↓	137 ↓	144 ↑	106 ↓	143 ↑	1002
水痘	8 ↓	10 ↑	7 ↓	10 ↑	4 ↓	3 ↓	62
手足口病	0 ↓	0 →	1 ↑	1 →	0 ↓	0 →	4
伝染性紅斑	9 →	6 ↓	13 ↑	8 ↓	8 →	10 ↑	63
突発性発疹	9 ↑	7 ↓	9 ↑	5 ↓	6 ↑	11 ↑	54
百日咳	1 ↑	1 →	2 ↑	0 ↓	1 ↑	1 →	6
ヘルパンギーナ	0 →	0 →	0 →	1 ↑	0 ↓	0 →	1
流行性耳下腺炎	20 ↓	16 ↓	21 ↑	18 ↓	12 ↓	18 ↑	131
インフルエンザ	60 ↑	257 ↑	717 ↑	1042 ↑	822 ↓	702 ↓	3630
マイコプラズマ肺炎	35 ↓	21 ↓	15 ↓	14 ↓	12 ↓	6 ↓	143
その他※	2 ↓	1 ↓	5 ↑	2 ↓	1 ↓	1 →	17

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第7週疾患毎発生状況表

第7週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他※
～5ヶ月	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	1	1	0	7	0	0	0	3	0	0	0	11	0	0
1歳	0	1	1	24	0	0	2	5	0	0	0	25	0	0
2歳	0	1	2	13	1	0	1	1	0	0	1	38	0	0
3歳	0	0	5	7	0	0	2	1	0	0	0	27	0	0
4歳	0	1	6	11	0	0	2	0	0	0	3	62	2	1
5歳	0	0	8	7	1	0	2	0	0	0	2	65	1	0
6歳	0	1	6	12	0	0	0	0	0	0	4	73	1	0
7歳	0	0	5	10	1	0	0	0	0	0	0	68	0	0
8歳	0	1	5	10	0	0	0	0	0	0	4	63	0	0
9歳	0	0	4	5	0	0	1	0	0	0	1	55	0	0
10～14歳	0	2	9	24	0	0	0	0	0	0	3	141	0	0
10～12歳												110		
13～14歳												31		
15～19歳	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	13	1	0
20歳以上	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	61	1	0
合計	2	8	51	143	3	0	10	11	1	0	18	702	6	1

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第7週年齢別発生状況表